



＊歯周病の治療4＊

今回は、歯槽骨の吸収を伴っている、病気の進行している歯周病の治療方法です。薬物や歯ブラシによって一時的な症状の改善は図ることができ、再発を防ぐためには外科的に病気の原因を除去する必要があります。

多くの場合、歯槽骨の吸収が進み、歯の動揺を伴っているため、手術前に治療する歯の前後の歯に連結するようにして固定します。

いくつかの治療方法がありますが、そのうちでも代表的な歯肉剥離搔爬術を紹介いたします。

この手術は最初に歯の周囲の歯肉を剥離して歯槽骨と歯根を露出させ、病気を直視

できるようにします。

次に、歯の周囲にある感染した歯周組織をすべて除去し、歯根表面の歯石や感染したセメント質を除去して健康な組織を残します。

最後に、歯槽骨の形態を整えて歯周病が再発しないように処置し、剥離した歯肉をもとに戻して終了します。

この治療の良い点は、病気を直視しながら治療ができることです。手探りの治療では完全に病気を除去することが難しく、再発しやすいります。また、歯周病で吸収した歯槽骨の形態をそのままにしておくと、病気を再発させる原因を残すことになるため、周囲の歯槽骨の形態も改善させて健康な状態を維持させるようにします。

術後の不快症状を少なくしたり、骨の再生を促進させたり、歯肉の付着を良くしたりと、他にもいくつかの外科治療がありますが、今回は省きます。

前回、今回と続けて外科的

な歯周病の治療法を述べました。歯周病も薬物や外科治療などで、かなりのところまで歯を抜かずに残せるようになってきています。ただ、どの治療でも失ってしまった歯槽骨を元の状態に回復させるのは困難です。歯周病においても「早期治療に勝るものはない」と言うことでしょうか。

＊用語解説＊
歯槽骨（しそうこつ）
歯の周囲にある、歯を支えている顎の骨
歯周病（ししゅうびょう）
昔は歯槽膿漏（しそつのろう）とよんでいた。歯の周囲の病気。
固定（こてい）
動く歯を金属線やプラスチックで結んで動きを止めること
歯肉（しにく）
歯の周囲にある粘膜。表面はピンク色でそれ以外の粘膜に比べると白っぽく見える。病気になる腫れて暗紫色に見える。
剥離（はくり）
歯肉や粘膜をそれらが被っていた骨からはがすこと。
歯根（しこん）
歯の骨に被われている部分。目に見える部分は歯冠（しかん）という。

歯周組織（ししゅうそしき）
歯の周囲にある、歯肉、歯槽骨、セメント質などの組織。
セメント質（せめんとしつ）

歯根の表面を被っている歯の一部。歯と周囲の組織をつないでいる。



＊学校保健研究会＊

今年の全県学校保健研究会は、八月三日に男鹿市文化会館で行われます。

その中の分科会で「虫歯予防のすすめ方について」という発表があります。

時間は午後一時から一時間半です。助言者として船川で開業されている小西先生が出演されます。

入場は無料ですので関心のある方はご参加ください。

＊終了証＊

今月、終了証をお渡しできたのは次の皆さんです。

小柳 龍 くん
児玉 崇 くん
児玉 琢 くん

＊八月の行事＊

二日 十三区子供会キャンプ
三日 一日市 航空防除
全県学校保健研究会
(男鹿市文化会館)

歯の健康情報

月/日	放送局	時刻	内容
7/19	秋田テレビ	09:55	弁慶は鬼ツ子だった?
7/26	"	09:55	歯の楽器?" キハーダ"
8/02	"	09:55	口の中を守るガードマン梅干し
8/09	"	09:55	水中カメラマンは虫歯が禁物

＊八月の休診＊

日	月	火	水	木	金	土
27 休診	28	29	30	31	1	2
3 休診	4	5	6	7 午後休診	8	9
10 休診	11	12	13 午後休診	14 休診	15 休診	16 休診
17 休診	18	19	20 一日市盆踊り	21 午後休診	22	23
24 休診	25	26	27 午後休診	28 午後休診	29	30

一日市盆踊り期間（八月十八日～二十日）は夕方六時半から通行規制があります。この期間、車で来院される方はご注意ください。

十四～十七日 夏季休診
十八～二十日 一日市盆踊り